

## スケジュール・費用（応募対象1件につき）

### 1 応募受付 4/4-5/24 13:00 JST

応募はWEBサイトで受け付けます。受け付け期間中に審査の視点セミナーや個別相談をオンラインで実施します。

### 2 一次審査（書類審査） 6/1-6/26

応募時にWEBサイトでご登録いただいた情報をもとに審査を行います。

[一次審査料] 11,000円

### 3 二次審査（現品審査） 7/5-8/17

一次審査を通過した対象は現品での審査に進みます。二次審査会は幕張メッセ国際展示場（千葉県）にて8月2日-8月4日に実施します。審査会場に持ち込めない対象は説明パネルなどの資料で審査を行います。

[二次審査料（一次審査通過者）] 60,500円

（二次審査料には、  
出品内容によるオプション料は含みません）

### 4 受賞発表 10/5

グッドデザイン賞のWEBサイトにて受賞対象、グッドデザイン・ベスト100、グッドフォーカス賞、グッドデザイン金賞、グッドデザイン大賞候補（ファイナリスト）を発表します。10月5日-10月31日の間はGマークを無料でご使用いただけます。

[受賞パッケージ料（二次審査通過者）] 165,000円

受賞展出展料、受賞祝賀会への招待、  
表彰状1枚及び1冊の受賞年鑑の贈呈含む  
（受賞展の出展内容によるオプション料は含みません）

### 5 受賞展 10/25-10/29

東京ミッドタウンにて、すべてのグッドデザイン賞受賞対象を展示する受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2023」を開催します。受賞祝賀会、グッドデザイン大賞選出会なども実施します。

○費用はすべて請求書払いとなります。期日までにお支払いください ○金額はすべて消費税込です ○費用は変更になる場合があります。  
○Gマークを無料で使用できる「受賞PR期間」後にGマークを使用する場合は、使用申請・使用料のお支払いが必要となります。

応募説明動画公開中

「グッドデザイン賞とは?」「応募の手続き」などが簡単にわかる動画を公開中です。  
詳しくはグッドデザイン賞のWEBサイトをご覧ください。



LONG  
LIFE  
DESIGN

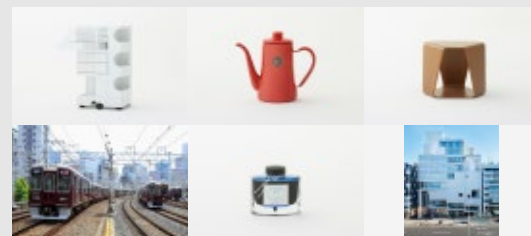
#### ロングライフデザイン賞も応募受付中

ロングライフデザイン賞は、私たちの暮らしや社会になくてはならないスタンダード・グッドデザインに贈られる特別な賞です。

応募  
受付

2023年度  
ロングライフデザイン賞

4月4日(火) - 5月24日(水)



お問い合わせ

公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局

E-mail: info@help.g-mark.org

詳細・応募は

[www.g-mark.org](http://www.g-mark.org)



# GOOD DESIGN AWARD 2023

2023年度

グッドデザイン賞 応募ガイド

CALL FOR ENTRY

2023.4.4 TUE-5.24 WED 13:00 JST

# GOOD DESIGN AWARD 2023

## 人と人を、思いと社会を デザインでつなぐ。

デザインの種は、そっと耳を傾けることから生まれてきます。世界に共通する大きな課題から、身近なところで聞こえてくるささやかな祈りまで。その声に応えたい、という思い。デザインにはそうした思いやアイデアを形に変え、しくみに乗せて、社会に根づかせていく力があります。

人と人を、思いと社会を、デザインで“グッと”つなぎ合わせる。誰もが互いを思い、慈しみを持ち、創造的に生きられる未来をめざして。グッドデザイン賞は社会に新たな価値を花開かせ、人々の心を動かすしくみやものごと、力強いアイデアをお待ちしています。



### グッドデザイン賞とは

#### 1957年創設

当時の通商産業省によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(Gマーク制度)」が母体です。

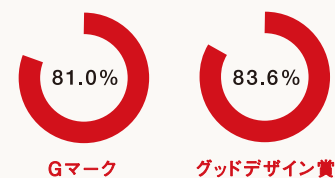
#### 45の国と地域が参加

毎年1回の公募制で開催され、いまでは、世界45の国と地域から応募デザインが集まる国際的なデザイン賞です。

#### 国内認知率83.6%※

「グッドデザイン賞」83.6%、受賞の証「Gマーク」は81.0%の国内認知率があります。日本でよく知られており、PR力の高いデザイン賞です。

※2020年2月 インターネット調査 n=2,100



#### 2022年度実績

受賞数:1,560 応募数:5,715

#### 約90名の審査委員

第一線で活躍する国内外のデザイナー・建築家などの専門家、約90名で審査を行っています。

#### 特別賞の種類

グッドデザイン賞を受賞したもののなかから、未来を示唆する優れたデザイン「グッドデザイン・ベスト100」が選ばれ、さらにそのなかから以下のような特別賞が選ばれます。

- グッドデザイン大賞
- グッドデザイン金賞
- グッドフォーカス賞[新ビジネスデザイン]
- グッドフォーカス賞[技術・伝承デザイン]
- グッドフォーカス賞[地域社会デザイン]
- グッドフォーカス賞[防災・復興デザイン]

#### 審査方法

〈一次審査〉  
応募情報をもとにした書類審査です。

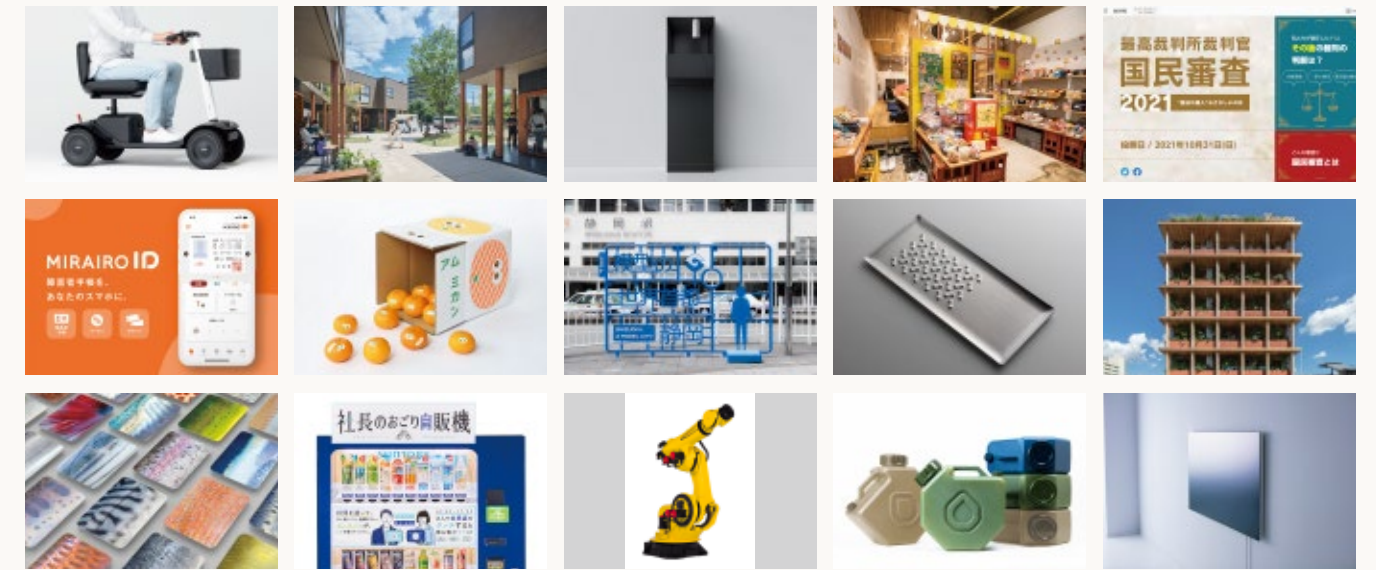


〈二次審査〉  
現物を審査委員が1点ずつ手にとって審査します。



## 応募資格は有形無形のあらゆる “デザイン”されたもの

デザインという言葉と役割が浸透し、社会での重要度が増すにつれ、賞の応募対象も応募者の幅も大きく広がっています。これまで同様プロダクトや建築、インテリアはもちろん、社会や地域の課題解決や新しいコミュニケーションのシステム、メディアやビジネスの開発まで。人と社会、環境のためにつくられた有形無形のデザインと呼び得るものが対象となります。



ご応募はWEBから  
www.g-mark.org

5/24

13:00 〆切

### 受賞特典



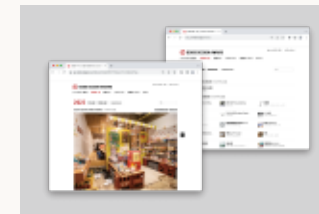
#### Gマークを活用した販売促進

受賞作品ごとに表彰状が贈呈され、受賞年鑑に掲載されます。受賞作品は、国内認知率80%以上\*の「Gマーク」を使用したPRが可能です。プレスリリースやSNS、商品パッケージなどに幅広く活用できます。

\*2020年2月実施 n=2,100

#### 受賞ギャラリー掲載・評価コメント獲得

1957年以降すべての受賞対象を掲載し、年間約500万人が利用する国内最大級のデザインアーカイブ「受賞ギャラリー」にて紹介します。審査委員である国内外のデザイナーや専門家からの「評価コメント」も公開します。



#### 各種イベント・媒体での露出

全受賞作品を展示・紹介する受賞展を東京ミッドタウンで実施します。同時期の祝賀会の開催や、グッドデザイン賞からのPRに加え、テレビ・雑誌などでの特集や小売店での販売、海外の展覧会への出品など、幅広い形で露出機会が増加します。

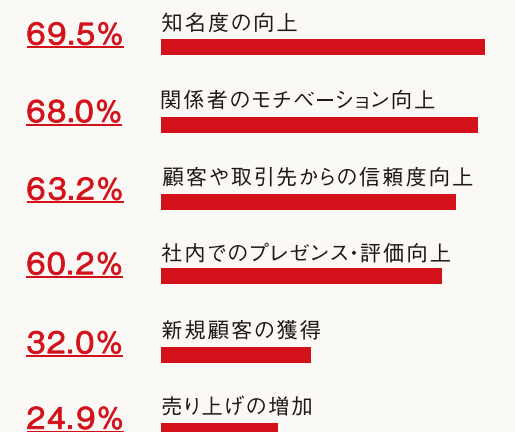
### 受賞者アンケート結果

1957年の創設以来、60年以上続くグッドデザイン賞。受賞者に行ったアンケートでは、Gマークの高い国内認知度をはじめ、日本のデザインを支えてきた歴史と実績から得られる様々な効果の声がありました。

〈グッドデザイン賞 応募回数〉

はじめて 44.2% 2回以上 55.8%

〈受賞による効果〉



※2022年11月実施 n=269